

5月の行事
(予定)

美里中 937- 3614	◇14(金) 学級総会 ◇19(水) 歯科検診(2年) ◇27(木) 全国学力調査(3年) ◇27・28 市学力調査(1・2年) ◇30(日) 授業参観・PTA総会
美里小 938- 8844	◇13(木) プール開き ◇14(金) 春の遠足 ◇18(火) 交通安全教室 ◇23(日) 日曜授業参観 ◇24(月) 代休 ◇27(木) 全国学力調査・市学力調査
美原小 934- 0021	◇7(金) 1年生を迎える会 ◇12(水) 学級懇談会 ◇25(火) 教育相談日 ◇27(木) 全国学力調査・市学力調査
美里幼 938- 1638	◇14(金) 春の遠足 ◇18(火) 交通安全教室 ◇23(日) 日曜保育参観・PTA総会 ◇31(月) 誕生会 * 弁当 11.14.18.20.25.27
美原幼 934- 3614	◇7(金) 内科健診 ◇12(水) 歯科健診 ◇28(金) 誕生会・PTA代議員会 * 弁当 11.13.18.20.25.27
松本保 939- 1335	◇11・18 リミックス ◇21(金) 避難訓練 ◇25(火) 弁当会 ◇28(金) 誕生会
知花保 938- 0446	◇11(火) 避難訓練 ◇19(水) 食育集会 ◇20(木) お誕生会
すみれっ 子保育園 937- 7432	◇18(火) 避難訓練 ◇19(水) 誕生会
知花自 937- 4516	◇10(月) 小地域ネットワーク ◇17・31 生きデイサービス ◇19(水) 婦人会総会 * 毎週月 出前児童館 * 毎週水 グラウンドゴルフ * 毎週土 子ども和太鼓練習
松本自 938- 3341	◇12(水) 評議委員会 ◇14(金) 福祉連絡会 ◇12・26 生きデイ * 毎週水 三線教室 * 毎週木 フラサークル * 毎週金 キッズデポ4時
東松本 自 939- 0901	◇8(土) グランドゴルフ同好会 ◇20(木) 生きデイサービス ◇23(日) 全体清掃
明道自 939- 4338	◇13・20・27 ゆんたく会 ◇20・28 生きデイサービス * 月 明道シニアクラブ * 月 民謡愛好会 * 火 パワー体操教室 * 月・水・土 ヨガ教室 * 13.27 民謡サークル * 19.26 大正琴 * 木 キッズデポ4時～6時

あまくま・ありくり敵象

浦崎 清子

肝ぬ向くままに
あまくまゆ巡て
走川に流ち
首尾ぬ淋しや

平成十九年三月から執筆開始の「あまくま・ありくり敵象」、気が付くと十五年経っていました。
「毎月楽しみにしているよー・読んでいるよー頑張っ！」との、読者の激励に支えられ、書くことに喜びを感じ、頭の体操のつもりで、とりとめのないことを書き続けました。
スタートがあれば必ずゴールがあります。ボケないうちに出るほっとしています。長年愛読頂いた皆様に衷心より感謝申し上げます。

人は信念と共に若く、
疑惑と共に老いる
人は自信と共に若く、
恐怖と共に老いる
希望ある限り若く、
失望と共に老いる

執筆を終わるに当り、かの、マッカーサー元帥が座右の銘として、執務室に飾ってあったといわれる、サミエル・ウルマンの詩「青春」を再度紹介します。読者も私も「一生青春」で人生を送りたいと思う欲望から……
青春とは人生のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。中略……年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いが来る。後略……

ようこそ先生方 ★敬称略
どうぞよろしくお願い致します

◆美里中学校

- ・大城朝広・山口 舞・仲宗根太吉・松島順平
- ・伊波桂子・大道裕之・高山師門・嘉陽なり子
- ・新里悠介・柴引玲美・山本絵理加・楚南兼光
- ・藤原廣道・宮澤信夫・大城希代子

◆美里小学校

- ・伊波みどり校長・上門信人教頭・長嶺由哲・外間秀平
- ・比嘉伸彰・古堅千明・川畑厚二・仲宗根淳・仲嶺明子
- ・安里賢弥・仲宗根真未・楚南ひかる・中村幸子
- ・宮城友里亜・ケネス・グンバン・アルファロー
- ・ナティーン・バートン・島田吉隆・大城ちす子・知花末和
- ・宮城喬子・伊敷直子・富山美和・石原ひとみ
- ・久保田園枝・田港晴奈・上原瑞生

◆美原小学校

- ・知念あかね・富真奈々・仲舛真弓・宮間伸幸
- ・知花茂彦・上田彩・新屋球美・宮里充樹・仲宗根文子
- ・玉城航汰・岩本久美子・仲村夢夢・天久美子
- ・植田奈津美・リタ・ゴンザレス・イシカワ
- ・エビリン・ナカイマ・中村裕子・照屋姫佳
- ・平安山和紗・本橋杏子・糸数タ香

知花区民定期総会中止のお知らせ

4月23日の審議委員会で「区民定期総会」の中止が可決されました。令和3年度定期総会資料の決算・予算は、「ちばなだより」に掲載して報告します。質問、ご意見がありましたら公民館にお電話ください。また、総会資料が必要な方は公民館までお越しください。

沖縄タイムス

タイムズ知花

◆発行所◆

沖縄タイムス
知花販売センター
沖縄市知花1-7-15
TEL・FAX 938-6287

http://www2.odn.ne.jp/moriji-15

知花朝盛

2021. 5. 1

281

新型コロナウイルス感染拡大防止
にご協力をお願いします「密閉」「密集」「密接」
しない！*他の人と十分な距離をとる！
(2メートル)*屋外でも密集するような運動
はさけましょう！*会話をする時はマスクをつけ
ましょう！(5分の会話は1回の咳と同)

*窓やドアを開けこまめに換気

*飲食店でも距離をとろう

*大人数での会食をさける

*エレベーターでは会話を慎み
ましょう！

細心の注意を

新聞購読料支払方法変更への
ご協力お願い

新型コロナウイルスの感染拡大で、緊張と自粛の毎日をお過ごしのこととお察いたします。当、沖縄タイムス知花販売センターでは、感染予防対策として、従業員のマスク着用・毎朝の検温・手指消毒をはじめ事業所内での「三密」の防止や、集金時の接触を極力さけるように努め、新聞購読料金の口座引き落としやクレジット払いへの変更をお勧めしています。尚、来年3月までに口座振替・クレジット払へ変更頂いた読者様に、1,000円分の商品券を差し上げます。

先の見えないコロナウイルス感染拡大への不安ですが、読者様に安心して購読いただけるようこれからも細心の注意を払っていきます。

1 1 9 番 情 報

新型コロナウイルス感染拡大を封じ込めるために、「蔓延防止等重点措置」の適用対象期間が、5月5日から5月11日まで延長されました。

県内では、3月後半から感染拡大の速度が上昇し、4月に入ってから、1日の陽性者が100人を超え、本市においても、連日10名以上の感染者が報告されています。家庭内、知人、職場等で感染が拡大し、次第に高齢者にも拡がりつつあります。

この危機を乗り越えるためには、一人ひとりの協力が必要です。

県民への要請(県内全域)

- 不要不急の外出や移動を自粛すること
- 混雑している場所や時間をさけて行動すること
- 県外との不要不急の往来は自粛すること
- 離島との不要不急の往来は自粛すること
- 営業時間短縮を要請した時間以降、飲食店等にみだりに出入りしないこと
- 歓迎会、模合、ビーチパーティー等飲食につながるイベント等は自粛すること
- 会食は、同居家族等と、小人数かつ短時間で実施し、感染対策が徹底されていない飲食店の利用を自粛すること
- 飲食店の求める感染防止対策に積極的に協力すること
- *「まん延防止等重点措置」指定に伴う沖縄県対策方針より

沖縄市消防本部では、新型コロナ感染症に対応するため、119番通報で出動する救急隊員は全ての事案に上下の感染防護衣やマスク、ゴーグル等を装着して対応します。市民の皆様のご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。

資料提供 沖縄市消防本部

越来・知花交番 だより

3/21~4/20の盗難発生状況(越来・知花交番管内)

種別	月日	区域	備考
非侵入盗	3/25~3/26	知花4丁目	事務所
非侵入盗	4月4日	美原2丁目	商業施設

水難事故防止運動実施中！

令和3年4月24日(土)から8月31日(火)までの間

☆運動スローガン

かっこいい ライフジャケット つけるばく

○活動重点

- ①魚とり中(魚釣り・貝採り)の水難事故防止
- ②ダイビング、スノーケリング、遊泳時の水難事故防止
- ③子どもと高齢者の水難事故防止
- ④飲酒等による転落水難事故防止
- ⑤海域レジャー提供業者に係る水難事故防止
- ⑥スノーケリングや魚とり中のライフジャケット着用の推進(浮力の確保)

これから夏にかけて、海水浴シーズンが始まります。
美しい海でも、油断は禁物！
相手は自然、天候や体調に気を付けて楽しみましょう。

沖縄警察署 TEL 932-0110

「住み続けられるまちづくりの担い手」

沖縄市出前児童館キッズデポ

(沖縄ハンズオンNPO スタッフ 島袋里咲)

長引くコロナ禍の影響により、「格差」や「差別」の深刻化が予想されています。特に沖縄県は全国的に見ても相対的貧困率(全国の年間所得の半分以上)が高いだけでなく、子ども達の自己肯定感も全国で44位と低く(文部科学省2017年)、心の格差も拡がりつつあります。子どもの自己肯定感には家族や学校など周囲の「人々との関係」が大きな影響を及ぼしていることは様々な調査で明らかにされています。

このような自己肯定感が低い背景には貧困問題があり、所得が低いと子どもに十分な教育を受けさせることが難しく、親の年収が子どもの学力に影響を与えていることに繋がります。さらに沖縄県では離婚率が全国一で、養育費の受取率の未払いが高いとの調査結果も示されています。大人の都合で子ども達の未来を壊してはいけません。なぜなら、子どもの養育費も子どもたちの生きる権利そのものだからです。

しかし、まだ多くの方は戦後のような絶対的貧困と相対的貧困の認識が曖昧だと思います。一つ言えることは、貧困はどんな家庭でもなりうるという事です。コロナ禍、失業や離婚で深刻な生活に悩まされる方々も増えていることを思うと、経済的、福祉的そして社会的にも弱い立場になってしまった方々への支援体制が必要不可欠です。歴史的にもチュイシージー(助け合い)の精神を心に持つリアルうちなあんなちゅにとっては当然であります。

貧困という負のスパイラルから抜け出すには、「援助」や「自立」のバランスが必要です。新たな貧困を生み出さない為にも、貧困のリスクにさらされやすい方々を守る工夫としてくみづくりが各地域で求められています。これからは、新しい地域づくりが必要であり、特に子ども達にとっては、地域内の人や物や情報の循環に、自分自身も関わっていると体感することが大事です。

すべての子ども達を地域全体で支援していくことこそ、自己肯定感が高まり幸福感も拡大すると感じています。

これから日本も沖縄も、どこの国も経験したことのない超高齢社会へ向かいます。その社会で活躍するのは子ども達です。子ども達の最善の利益に繋がるキーパーソンこそ、皆様のような読者です。地域の子どもの未来づくり、絆づくりを一緒に始めませんか。

